

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
経済学B	経済学の考え方を身につける	高橋 真悟	1 年次後期
講義の目的	経済学Bでは、経済学Aに引き続き、経済を構成する家計（消費者）や企業（生産者）の行動、または市場における価格メカニズムなどを扱う経済理論の考え方を学ぶことを目的とします。		
到達目標	この講義を通じて、日常生活に溢れる経済学的要素を身につけると同時に、企業がどのようなことを考えながら企業活動を行っているかを理解できるようにします。これに加えて経済学Bでは、金融危機と人々の経済活動や鉄道に関する経済学が理解できるようになることを到達目標とします。		
講義内容	経済活動はモノやサービスをつかって売り、それらを消費する一連の活動を指します。経済学Bでは、経済学Aに引き続き、楽しみながら経済学を学んでいきます。前半は企業と消費者に関係する内容を金融危機（リーマンショック）の内容も入れながら学習していきます。学期の最後の方では、鉄道の経済学を2回に分けて学習します。なお、必要なキーワードは授業で毎回説明するので、経済学Aを受講していなくても問題ありません。		
講義スケジュール	第1講	オリエンテーション（授業概要・運営方法の説明）	
	第2講	金融危機と経済主体（1）～インセンティブ、モラルハザード、逆選択～	
	第3講	金融危機と経済主体（2）～囚人のジレンマ～	
	第4講	企業と消費者（1）～ロックイン～	
	第5講	企業と消費者（2）～コミットメント～	
	第6講	企業と消費者（3）～ヴェブレン効果～	
	第7講	企業と消費者（4）～心の会計～	
	第8講	現代の企業活動（1）～スクリーニング～	
	第9講	現代の企業活動（2）～オークション～	
	第10講	現代の企業活動（3）～レントシーキング～	
	第11講	現代の企業活動（4）～規模の経済性～	
	第12講	鉄道の経済学（1）～価格差別、機会費用～	
	第13講	鉄道の経済学（2）～本源的需要、派生需要～	
	第14講	総復習（1）キーワードの復習	
	第15講	総復習（2）練習問題の復習	
方法指導	講義はプリントを中心に行います。また、毎回授業内課題として映像資料を踏まえた論述問題に取り組んでもらいます。		
授業外学習	授業前の事前学習として、次回扱うキーワードがどのようなものかを簡単に調べておいてください。事後学習としては、キーワードの具体例を説明できるように復習しておいてください。		
成績評価方法	本試験（筆記試験）60%、平常点（授業内課題）40%		
テキスト	特になし。毎回プリントを配布します。		
参考書籍	吉本佳生・NHK「出社が楽しい経済学」制作班編『出社が楽しい経済学2』NHK出版、2009年。		
事項記			